

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名：ポストペタスケールデータインテンシブサイエンスのためのシステムソフトウェア

2. 研究代表者： 建部 修見（筑波大学大学院システム情報系 准教授）

3. 中間評価結果

既に我が国の HPCI 基盤 (分散ストレージ) として採用されているミドルウェア **Gfarm** を、その開発者たちによって 100 倍のスケールで発展させる研究開発であり、順調に進捗し成果もすでにでており今後多いに期待できる。急速に発展するビッグデータ時代を支える基盤技術の一つとして今後のイノベーションのベースとなると考えられる。

サブテーマである計算ノード OS の研究開発では、Linux 固有の解決方法ではあるが OS ノイズの軽減手法として独創性のあるものが開発され、ファイル I/O 処理の中で実現されており注目してよいと思われる。

14000 近いダウンロードがある **Gfarm** 等の成果をもとに、OSS 技術支援センターを設立しその普及に向けた活動をしており、本研究課題の成果として開発・公開されるソフトウェアシステムもこのセンターで支援されることが想定されており、研究成果の実用化への積極性も大いに評価できる。